



支え助け合い

出雲崎町老人クラブ連合会会長

日 山 正 雄

明けましておめでとうございます。会員の皆様方には健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

未だに、コロナウイルス感染が収まらず毎日大勢の感染者の報道がされています。また、昨年二月にロシアのウクライナへの侵略戦争が勃発。毎日多くの命が失われ、出口が見えない状況が続いています。世界が影響を受け、輸出入が停滞し物不足や物価高で一般家庭の日常生活が圧迫され苦しい生活を余儀なくされています。国や地方の行政も家庭の負担軽減策を行い、適切な支援や補助等に対応されています。一日も早い終息を願うばかりです。私たち老人クラブも総会や大きな活動が出来ない状態が三年も続いています。今の状況では今年もどうか心配ですが、こんな時だからこそ様々なピンチをチャンスと捉えて、皆で知恵を出し合い、出来ることは仲間や友達または身近な人と支え合いながら、楽しく活動ができればと思います。出雲崎町老連も協力応援して参ります。今後ともよろしくお願い致します。

指導者研修会を開催しました。

令和4年10月6日(木)ふれあいの里「ふれあいホール」を会場に理事16名が参加し、指導者研修会を開催しました。

今年度は、新潟大学准教授の村山敏夫氏を講師としてお招きし、『持続可能な健康づくり～SDGsと出雲崎のこれから～』という演題で、講義をしていただきました。

その中では、「住民の幸福度を高めることが、地域の持続性を高めることにつながる」ということ。幸福とは「健康であること」だと感じている方が多い現代、健康のために大切なことは何か、それは「人とのつながりをもつこと」であること。また、「好意の返報性」という人間の原理から、人は「自分がされたことを人にしたくなる」という性質があり、「人が喜ぶことをしてあげる」ことが、関係づくりの基本である等、身近で興味深い内容でした。健康づくりのために、是非できるところからみなさんで実践していきましょう。



第36回 町長杯争奪ゲートボール大会

期日：令和4年6月13日（月）

会場：出雲崎町屋内ゲートボール場

さわやかな陽気の中、小林町長と日山老人クラブ会長の始球式でスタートしました。議員チームを加えた7チームでの熱戦が繰り広げられ、決勝戦は1点差の好ゲームになりました。（優勝：小木ノ城Bチーム）



第34回 議長杯争奪ゲートボール大会

期日：令和4年7月20日（水）

会場：出雲崎町屋内ゲートボール場

風が心地よい涼しい天気のもと、笑い声や熱い言葉が飛び交い、各チームが優勝を目指して真剣にプレーをしていました。大変お疲れ様でした。（優勝：フェニックス）



米寿のお祝いをお渡ししました！

（西越クラブ）

西越クラブでは、これまでお香典としてお渡ししていたものを、令和4年度から、米寿のお祝いとしてクラブの皆さんにお渡しすることにしました。みなさんがお元気な時にお渡ししたい、これからも長生きをしていただきたいという思いが込められています。

今年度は4名の方にお渡しすることができました。



花いっぱい運動事業

今年度は町内5カ所で、花いっぱい運動を実施しました。鮮やかな色の花々が道路沿いを彩り、たくさんの方々に楽しんでいただけたことと思います。



あとがき

コロナ禍において規模を縮小しながらも、無事に活動ができたことをうれしく思います。今後も、老人クラブの活動の様子を皆様にお伝えできればと思っています。よろしくお願いします。

〔事務局〕